

スラバヤ市における飲料水供給改善事業にかかる案件化調査

(株)いしかわエンジニアリング、(株)地域計画連合

JICA「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(2016年度)

<事業概要>

スラバヤ市の安全な水供給が困難な地区において、水質に応じた小規模分散型浄水システムの普及、主要な供給手段であるガロン水の安全・安価な生産体制の構築、生協等を通じた販売ルートの確保による、住民の経済的負担と健康リスクの軽減を目指すもの。

①スラバヤ市水道公社 (PDAM) との連携

そのままでは飲用に適さないPDAMの浄水を原水とし、小規模浄水装置を分散配置し、地区単位で安全な飲料水の供給を目指す。また、未給水地区や沿岸地域等の水質の悪い地域へは、共同水栓の整備や、給水車などによる水供給を検討する。

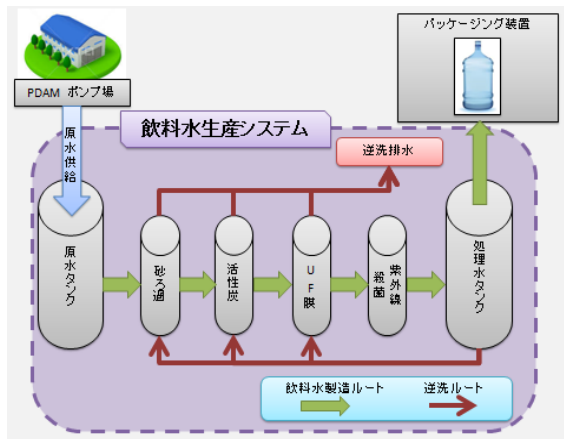
②スラバヤ市内生協ネットワークを活用したガロン水普及

現状、ガロン水やペットボトル水を飲料水として購入しており、収入に占める飲料水代が高く、収入が低い世帯では安全な水を飲むことが難しい。

スラバヤ市内の生協ネットワークを活用し、市販されているガロン水よりも安価に安全な飲料水の供給を目指す。



PDAM原水 (浄水前)



飲料水生成システム



スラバヤ市内生協店舗